

裁判員制度

裁判員制度って知っていますか。刑事裁判に国民が参加し、裁判官と一緒に有罪か無罪か、有罪の場合の刑罰を判断する制度です。「裁判員の参加する刑事裁判に関する法律」(2004年5月に成立・公布)に基づき、2009年5月までに始まります。もしかしたら、あなたも将来裁判員になるかもしれません。そこで、今回は法律や裁判についてわかりやすく書かれた本を紹介します。あなたも読んでみませんか。

『父と娘の法入門』(岩波ジュニア新書)

大村敦志著 岩波書店 2005

[FJ320/材 1108791739]

法学者の父が娘に法をテーマに夜な夜な語る。対話形式で、法とは何かを娘にわかるように説明している。

『気分はもう、裁判長』(よりみちパン!セ)

北尾トロ著 理論社 2005

[FJ327/材 1108770167]

さまざまな事件を扱う裁判の傍聴記。裁判を通じて、複雑な人間模様がかいまみられる。事実は小説よりも奇なり。

『裁判とふしぎなねこ』手島悠介作 清田貴代絵 学研 2005

[J913/材 1108653062] 児童室

『もしも裁判員に選ばれたら』四宮啓ほか著 花伝社 2005

[327.67/材 1108634361] 社会科学

『シネマで法学』新版 野田進, 松井茂記編著 有斐閣 2004

[320.4/材 1108520594] 社会科学

3階ティーンズコーナー

Y・A BOOKS

14(2006.1)



読むのは、今だ。

愛知県図書館サービス課人文・社会・地域グループ

電話 052-212-2323

ハチミツドロップス

草野たき著 講談社 2005

カズは中学ソフトボール部のキャプテン。ソフトボールとは名ばかりで、実際は何もせず、気楽に、仲間と楽しく遊ぶ部活だった。ところが、妹たち新一年生の入部によって、勝利をめざす体育会系部活へと変貌する。カズとその仲間は、心のよりどころを失い、バランスをくずしてゆく。

㊦J913/㊦
1108755581

オリーブの海

ケヴィン・ヘンクス著 代田亜香子訳 白水社 2005

交通事故で亡くなったクラスメートのオリーブの日記を手渡されたマーサのひと夏の物語。マーサは恋をしたと思っていたが、それは賭けの対象にされていただけだった。傷ついた彼女は、本当に自分のことを暖かく見守ってくれるまなざしに気付く。2003年度ニューベリー賞オナー賞受賞。

㊦J933/㊦
1108757085

ジョナさん

片川優子著 講談社 2005

チャコとトキコは高校二年生。トキコが大学に進学しないと聞いたチャコは自分の進路に迷い、悩んでいた。チャコはおじいちゃんが飼っていた犬のギバちゃんの散歩先のゲートボール場で、すてきな大学生風のジョナさん（仮称）に声をかけられる。現役の高校生作家による青春小説である。

㊦J913/㊦
1108792718

フェルメールの暗号

ブルー・バリエット著 ブレット・ヘルキスト絵
種田紫訳 ソニー・マガジズ 2005

差出人の名前のない手紙が三人に配達された。美術館からフェルメールの名画が盗まれた。暗号とパズル好きなコールドーと本好きなペトラが謎解きに挑み、全く関係のない出来事が次々とつながっていく。2005年エドガー賞受賞YAミステリー。

㊦J933/㊦
1108764713

少年のころ

ミヒャエル・ゾーヴァ絵 那須田淳文 小峰書店
2005

ドイツの風刺画家ミヒャエル・ゾーヴァのユーモアのある絵に児童文学者の那須田淳が文をつけた絵本。絵だけでも、文だけでも楽しめるが、絵と文が織り成す世界は、なお一層楽しい。

㊦J726/㊦
1108748498

オヤジ国憲法でいこう！

しりあがり寿，祖父江慎著 理論社 2005

おじさんが、若者におくる熱いエール。それは、常識をくつがえす、おかしくて、思わず笑える人生のルールである。オヤジ国憲法は、第1条「個性ハ必要ナシ」、第2条「友達ハタイセツナモノニアラズ」、第3条「恋愛ハロクナモノデナシ」、第4条「真理ヤ理想ハ幻想ナリ」第5条「ヤングノ敵ハ隣室ニアリ」。

㊦J159/㊦
1108752991